

理想に向かって

私が初めて障がいを持つ人を見たのは、小学校の特殊学級に通っている数名で、交流を持つ事は一度もありませんでした。だから障がいを持つ人の事はまるきりわかりませんでした。

中学校に上がった時（私が通っていた中学校は三つの小学校が合併したマンモス中学校でした。）となりの小学校から来た右半身が不自由な子と知り合いました。きっかけは小学校から一緒だった数名に露骨に罵倒されたり、いじめを受けているのを見たことです。そんな感じで、何故その子がいじめられていたのかわからないまま、私から声をかけました。

私が通っていた中学校の制服はセーラー服で、彼女は、セーラー服のリボンもスニーカーのひもも自分では結ぶ事ができません。私と一緒にいる時は、私が不器用ながらも結んであげていました。二年になって、すっかり仲良くなったからか、彼女の甘えがでてきました。リボンもスニーカーも綺麗に結べないと何回もやり直しをさせるのです。私も「大丈夫やよ、結べてるよ。」と言っても気分を害した態度をとってきます。

私も障害を持つ人の気持ちがわからなかったので、どんどん疲れ、離れていきました。それから高校生、社会人になり私は、誰一人として障がいを持つ人とかかわらない日々を淡々と過ごしていきました。

そして、三十歳半ば、色んな事が気になって、完璧じゃないといけない、仕事ができないといけないという思いで首がしまる思いをするようになってきたのです。あきらかにメンタル不調。初めてメンタルクリニックのドアをたたきました。診断名は、“強迫性障がい、うつ、複雑性 PTSD”でした。それでも私は苦しくても会社へ行かなければいけない。四十歳まで普通に働き続けました。そしてアメリカ滞在の機会に恵まれ、アメリカにいた三ヵ月間は、本当に色々な症状が起こらず開放され充実した日々を過ごしました。

しかし、日本に戻ると、また苦しい毎日に逆戻り。ドクターから精神障がい者手帳を交付してもらうようにアドバイスを受けました。

私自身、障がい者に偏見はありませんので他の人もそんなものだろうと思い込んでいました。ところがふとした時に私の障がい人が人に知られるようになると、一人また一人と友達が去っていきました。その時、言葉にならない悲しみと怒りが沸いてきました。そして「そうなんだ健全者は障がい者を受け入れないんだ。」としみじみ思いました。

しばらくして日本人のいない英会話学校に通い、何故かわかりませんが、何の知識もないままキリスト教に興味を持ち始めました。

少人数レッスンや個人レッスンの時に講師にクリスチャンかどうかたずね、クリスチャンだという講師にキリスト教の教えを聞いていきました。そしてその中の一人が堺の教会に通っている事を知り、私も連れて行ってもらいました。プロテスタントのその教会はとてもシンプルで、賛美歌を歌ったり。聖書の解説を牧師様がしてくれました。それだけなのに

とても居心地がよく、私は毎週通うようになりました。数年がたち、教会は大きくなり、中百舌鳥に新築の教会が建ちました。私が住む場所から車で40分かかるので、教会の近くに引っ越すことにしました。そこでは毎日近くに居場所があり、いつも皆が受け入れてくれました。健常者の方も普通に接してくれ、次第に気持ちが軽くなり、楽しく通っています。

また以前に住んでいた市とかなり違い、福祉施設が充実していて、まずはデイケアに通うことにしました。そこでは看護師さんや、作業療法士さん、精神保健福祉士さん、臨床心理士さん達がそろっていて充実したケアを受ける事ができました。また地域包括支援で、趣味を楽しむこともできました。そして、作業所という場所がある事を知り、家の近くの作業所に通う事に決めました。わずかですが工賃をいただき、できる範囲でいろんな仕事をさせて頂きました。

また、作業所で「ピアカウンセリング(障がい者による障がい者へのカウンセリングやサポート)」の講習会がある事を知り、自分の為にも、他に困っている人の為にも知識を得たいと思い、作業所に通いながら講習を受けました。講師は実際にピアカウンセリングを続けている方々で生の声を聞け、色々と気づきがありました。

さらに、ヘルパーさんや訪問看護師さんに来ていただくようになり、かなり生活が助けられています。

健常者の友達はまだできてはいませんが、作業所、ヘルパーさん、訪問看護師さんと交わっていくうちに、私の中の健常者に対して持っていた「きっと理解してくれないだろう」という思いや、卑屈な思いが小さくなっていきました。しかし、まだ福祉事業所の方々や教会の方々になっているだけで、これからは機会があればできるだけ積極的に交流を持ちたいと思います。

私の望みは障がい者と健常者の垣根を越えて、お互いがそれぞれの特性を認め一人の人として接し合う事ができる社会になることです。